



皆さんこんにちは、今年の夏は、楽しく過ごしましたか。皆さんにこの記事を読んでいただく頃は、書いてから約2か月経っています。現在、8月10日で、とてもとても暑くて、むしむしする日々が続く、日本らしい盛夏の時期ですね。日本の夏って、どんなカンジ？ 欠かせないものがたくさんありますよね。「祭り」はもちろん！「花火」もいいですね！ 私は日本の祭りが大好きで、日本の伝統を感じます。ドイツでは、花火は基本的に年末しかありません。12月31日から1月1日に日付が変わる0時ぴったりに、あちこちで花火があがります。ところで、皆さんは今年、浴衣を着ましたか？「いいえ」という人、だめだめ！もったいないことです！日本の伝統的な衣服を見せなくちゃ…。今の日本では着る機会が本当に少ないと思います。たんすの中に何枚かは必ずあるでしょうから、機会があったらぜひ着てみてください。日本の文化や伝統をさらに深めてください。ドイツにもこんな爽やかな、素敵な服があればいいな…といつも思います。外国人からは、和服はとても綺麗な宝物だと思われていますよ。



今月の「サプライズ」



長崎に行ったことはありますか？私はお盆の時、行ってきました。ただ長崎市を観光するのではなく、8月15日の夜、長崎で有名な精霊流しを見に行くのが目的でした。精霊流しは、初盆の霊を船に乗せ、極楽浄土へ送り出す長崎の伝統行事です。とても静かな祭を想像していたけれど、正反対！夕闇がせまるころ、町のあちこちから鐘の音が響いてきます。耳をつんざくような音で、行列は海のそばまで届き、夜遅くまで続きました。耳が本当に痛くなり、ドイツの大晦日の花火が全然大したものじゃないと思うくらい騒がしかったです。コンビニに、この夜の必需品として耳栓がおいてあったので良かったです。

現在は、精霊船は海に流すのではなく、防波堤でスクラップするそうです！（消防士に聞いたら、30年前までは海に流したけれど、ゴミの問題などで中止となったそうです。）ショベルカーも何台が用意されていて、びっくりしました！それも日本文化なのですね…。

今月の「これ知ってる？」



日本の夏といえば、お盆です。仏教行事で、仏様が家に帰ってくるためにお墓参りをする習慣がありますよね。仏教的なものであっても、熱心な仏教徒以外の人もお墓参りをします。神様を信じている人の習慣でもあります。ドイツにはお盆はもちろんないけれど、似た祝日はあります。日本との違いは、ドイツでは宗教をひとつに決めなければならないことです。一生の中でやめることや再び加入ことはできますが、二つ以上の宗教を持つてはいけません。

日本では、熱心に宗教活動をしている人は少なく、多くの人は宗教をあまり気にしていません。それはとても平和的な方法だと思います。ヨーロッパの歴史を見れば、戦争の原因はほとんど宗教的な問題でした。日本では、宗教的な戦争は一回もなかったし、神道や仏教やキリスト教などの宗教を同時に生かすことが可能です。これはとてもいいことで、真似するべきだと思います。今月も少し勉強になるように、ドイツの宗教の割合を紹介したいと思います。ところで、私は30%であるグループ（無神論）の一人で、それにもかかわらずクリスマスに（但しクリスマスだけ）プロテスタントの教会に行きます。いいのかしら??（冗談）



カトリック33%	プロテスタント33%（1517年以降マルチン・ルター氏によりカトリック教会の改革を求める宗教改革運動が起こされてからのキリスト教諸派）	その他 4%	無神論 30%
----------	---	--------	---------